

研究課題名	A病院NICU/GCUにおけるおむつ皮膚炎の実態調査
研究機関名	武蔵野赤十字病院 オレンジ7階病棟
研究責任者	村田 由佳
研究期間	当院の看護研究倫理審査委員会の承認後(令和3年8月～令和3年10月)
研究の意義・目的	おむつ皮膚炎はおむつ着用部に生じる複合的な原因による皮膚炎です。新生児、特に早産児、低出生体重児の皮膚は機械的な外力、物理的な刺激に脆弱であり、容易に皮膚トラブルに発展してしまうため、おむつ皮膚炎を予防するための看護ケアを実践することが重要となります。本研究では、当院NICU/GCUにおけるおむつ皮膚炎発生状況を調査し、より良い看護ケアについて考察することを目的としています。
研究の方法 (対象期間含む)	多重ロジスティック回帰分析にておむつ皮膚炎発生児と非発生児を比較分析しA病院NICU/GCUにおけるおむつ皮膚炎の実態を明らかにします。 研究対象者は2020年4月1日～2021年3月31日にA病院NICU/GCUに入院中の児で、在胎週数37週未満または出生体重2500g未満の児です。(出生後5日以内に母児同室が可能となった児は除きます。) 本研究でのおむつ皮膚炎発生児とは研究対象者のうち、修正週数35週以降に電子カルテ上に肛門周囲の発赤が出現した記載がある児を発生群と定義します。再発例は含みますが、真菌感染疑いの児、消化管疾患児は除外とします。 (根拠:新生児の皮膚の機能的・構造的成熟は在胎32-34週ごろに完成するため、それ以前の児では皮膚の成熟度が極めて未熟であり前提条件が異なるため、修正週数35週以降のおむつ皮膚炎の発生児と非発生児を比較対象としました。)
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される 場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する 試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	①使用するデータは、個人が特定されないように個人情報除外したデータのみを使用します。他の機関へ情報を提供することはありません。研究の成果は看護系の学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前やカルテIDなど個人が特定できるような情報が公開されることはありません。本研究において得た情報は本研究以外では利用いたしません。 ②電子カルテより研究対象者の出生時から退院時までの以下の情報を得ます。性別、分娩様式、在胎週数、出生体重、肛門周囲皮膚の発赤の有無と程度、発生日時、発生時の日齢、発生時の修正週数、発生時の体重、おむつ交換回数(尿回数、排便回数)、便性、軟膏塗布回数、軟膏の種類、経腸栄養種類(母乳、ミルク、LBW、MA-1、強化母乳)、経腸栄養量、内服薬、腹部ケア種類(浣腸、肛門刺激、ブジー、腹部マッサージ)と介入頻度、血液データ(血清亜鉛値、血清ALP値、TP、血清アルブミン値、白血球数、赤血球数、血小板数、血色素濃度、ヘマトクリット、Fe、Na、Cl、K、Cr、Ca、CRP)、収容状況(閉鎖型保育器、開放型保育器、新生児用ベッド)、保育器温度、保育器湿度、おむつ皮膚炎発生時の体位 ③武蔵野赤十字病院NICU/GCUに勤務する看護師、助産師、かつ本研究を行う看護師/助産師のみ。 ④村田由佳
問い合わせ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合せ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 オレンジ7階 氏名 村田 由佳 TEL:0422-32-3111(代表)5375(オレンジ7階病棟内線) FAX:0422-32-3525